

特定機能病院として承認されました



病院長
山本 一仁

愛知県がんセンターは、2022年12月1日付けで、厚生労働大臣から特定機能病院として承認されました。2016年4月より特定機能病院取得を目指し、丹羽前病院長（現総長）のもと、がんセンターのスタッフが一丸となって努力してきたことが結実しました。

特定機能病院は、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院として、第二次医療法改正において平成5年から制度化され、これまでに87病院が承認されています。そのうち79病院が大学病院で、がん専門病院は5病院でしたが、そこに当センターも加わったこととなります。

当センターの使命である新しいがん医療、高度ながん医療を開発・研究するためには、病院としての安全性・透明性を担保し、社会の理解を得ることが前提となります。特定機能病院に承認されるということは、新しいがん医療、高度ながん医療をおこなう能力・体制等を備えていることを認めて頂いたこととなります。

一方で、特定機能病院の承認は、当然ながらゴールではなく、がんセンターが新たなスタート時点に立ったことを示すものがあります。特定機能病院として、更なる高みを目指し、最良のがん医療を患者さんに提供すると共に、研究の推進や教育・研修の実践をおこない、がん医療の発展に貢献して参ります。今後とも、皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



楽天の三木谷会長が表敬訪問されました

2022年11月9日、当院が頭頸部がんに対して行っているがん免疫治療法（アルミノックス治療）で使用するアキシャルックス®点滴静注を開発した楽天メディカル株式会社の三木谷浩史会長が、当院を訪れ、がんセンター総長らと共に、治療現場における課題や要望等について意見を交しました。



患者満足度調査から見えること 今後の改善に向けて2022

愛知県がんセンターでは、安全で安心な医療サービスを提供するため、患者さんからご協力いただき、毎年「患者満足度調査」を行っております。今年は外来で9月27・29日、入院では9月27～29日に実施いたしました。その結果をお知らせいたします。

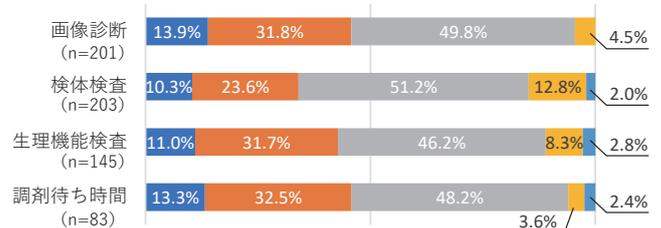
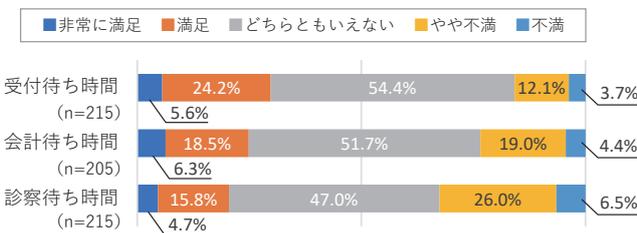
- 1. 調査件数** 外来部門 配布枚数：300枚 有効回答数：236件（回答率：78.7%）
 入院部門 配布枚数：300枚 有効回答数：182件（回答率：60.7%）

2. 調査結果

1) 総合的に当院を100点満点で評価すると何点ぐらいになりますか

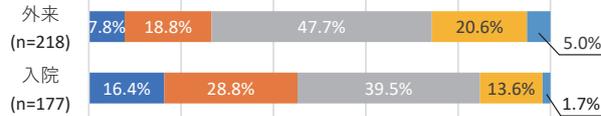
①外来部門 平均84.2点 ②入院部門 平均85.1点

2) 外来待ち時間満足度

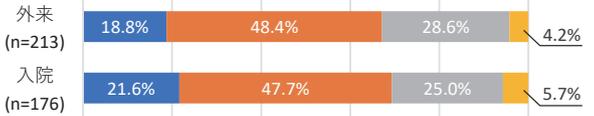


3) 満足度（一部抜粋）

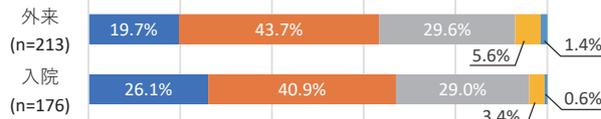
【設備・施設】 トイレの清潔さ、使いやすさ



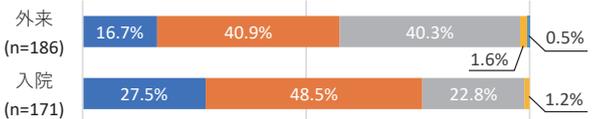
【医師】 病状や検査結果の説明のわかりやすさ



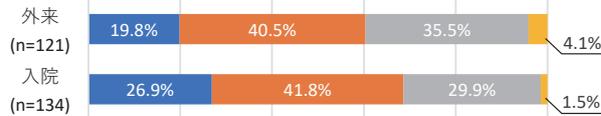
【医師】 質問や相談のしやすさ



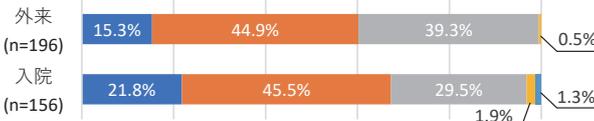
【看護師】 痛みやつらさ、不安等を和らげる配慮



【薬剤師】 薬の説明のわかりやすさ



【放射線技師】 検査に関する説明



新任医師の紹介



まつざわれいこ
松澤令子
呼吸器内科部

この度、呼吸器内科部へ着任いたしました。近年、がんに対する治療は大きく変化しています。疾患や全身の状態はもちろんです。患者さん自身が何を大切にしたいかによっても適切な選択は異なると考えています。患者さんがより納得して病氣と向き合えるように努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



せとかつとし
瀬戸克年
呼吸器外科部

この度、呼吸器外科部に赴任いたしました。以前に当院の呼吸器外科部、遺伝子病理診断部に勤務歴があります。地域の皆様に肺がんを中心とした胸部悪性疾患に対し最善の治療ができるように尽力いたします。わからないこと、不安なことがありましたら何でも聞いてください。



こじまりりゅうじ
小島龍司
婦人科

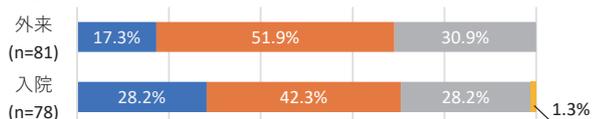
2022年4月より当院に赴任、10月より医員に着任いたしました小島龍司と申します。患者さんひとりひとりのニーズに合わせた適切な医療の提供を心掛けたいと思っています。よろしくお願いたします。



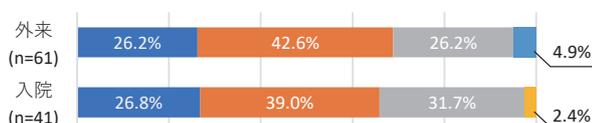
はしもとしんじ
橋本真吾
放射線治療部

2022年10月1日より放射線治療部に着任いたしました。これまで、名古屋陽子線治療センターや名古屋市立大学病院で多くのがん治療に携わって参りました。他の診療科と緊密な連携を取りながら、皆様にとって最善の医療を提供させていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

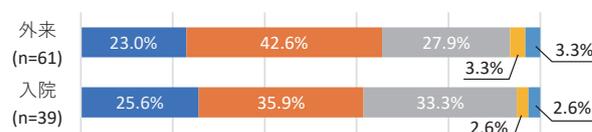
【栄養士】栄養指導の内容



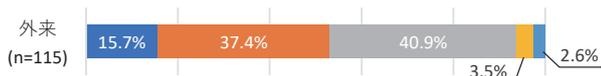
【相談支援センター】相談したい内容を相談できたか



【相談支援センター】相談したい内容についての説明



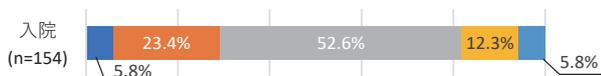
【化療センター】治療しながら生活することへの看護師の説明



【入浴】入浴・シャワーの設備



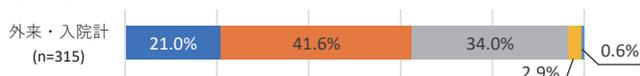
【食事】食事のメニュー



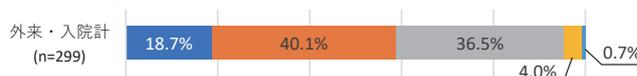
【食事】食事の味



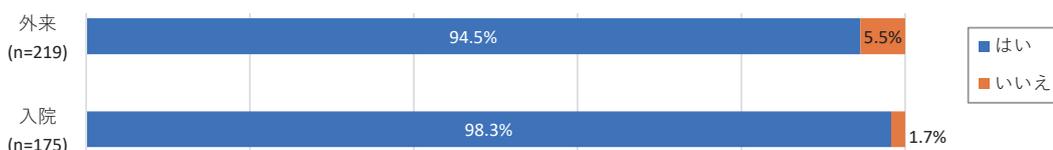
【退院】退院時の看護師の説明



【退院】退院後の生活についての説明



4) すべての職員は検査や処置などの前に、フルネームでお名前を名乗っていただくようにしていましたか



3. 総 評

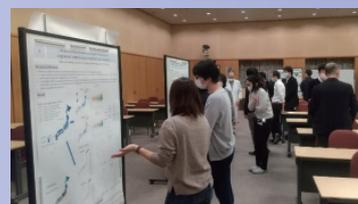
「患者満足度調査」にご協力いただきありがとうございました。本調査は当院が患者さんの立場に立った安全で安心な医療サービスを提供できているのか、多くの患者さんのご意見をいただく貴重な機会となっております。そのため、患者さんに丁寧な説明ができているのか、何かお困りごとがあった際に支援ができているのかなどを質問させていただきました。わずかではありますが、改善できていることでもあります。しかし、「総合的に当院を100点満点で評価すると何点ぐらいになりますか」の点数が85点では、まだまだ不足している点が多いと認識を新たにしました。今後も、いただいた貴重なご意見、調査結果を受け止め、一つずつ改善できるよう取り組んでまいります。

(2022年度患者サービス委員会委員長 安田啓介)

※全ての調査項目につきましては、ホームページで公開します。 <https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder1/1255.html>

研究所報告会について

2022年11月4日に研究所報告会が行われました。研究所はワンフロアに2分野が入居し、同じフロアでも隣の分野とは完全に独立した構造になっています。また、COVID-19が出現した3年前より所員が顔を会わせて集まる場が少なくなり、10ある分野の各メンバー間の交流が以前より難しくなっている状況があります。幸い、今年は完全に対面での開催が可能になり、活発な討議が行われました。また、例年は分野長が分野紹介を口頭発表し、研究員は主にポスター発表を行う形式だったのですが、今年は分野長の発表は録画にアクセスするオンデマンド形式とし、研究員の発表を投票によりポスターと口頭発表に分け、より各研究員が行っている研究内容を共有できる形を取り入れました。プレゼンテーションは回数を重ねるとうまくいくことから、若手のスタッフにとっては貴重な経験となったとともに、今後所内での共同研究などに発展していくことを期待しています。



とうろく医探訪

本山腎泌尿器科 ゆうクリニック 院長:伊藤 裕一 先生



「ゆうクリニック」は地下鉄東山線と名城線が交差する本山駅1番出口から徒歩1分の、東山通りに面したビルの2階で2010年11月から泌尿器科・女性泌尿器科を標榜する腎・泌尿器科専門クリニックとして開院し、この11月で満12周年を迎えました。

開院当初から、愛知県がんセンターには連携病院として前立腺癌、膀胱癌を中心に手術や放射線治療の患者様を紹介し、お世話になっています。また前立腺癌連携パスなどを通じ治療後のフォローアップも行っております。

現在、医師1名、看護師5名、事務5名の体制で診療を行っており、前立腺肥大症、尿路感染症、前立腺癌、膀胱癌、頻尿・尿失禁 血尿・尿潜血、男性更年期障害など、1日平均約110名の患者様が受診されています。泌尿器科は女性にとってやや敷居の高い科ですが、当院は男女で待合室を分けており、半数近くの方が女性患者様です。

またPSA高値でご紹介いただき、日帰り前立腺生検を行っています。最近の約5年間で、のべ285例に施行し癌陽性120例(検出率42.1%)でした。入院を要するような合併症は1例も認めておりません。

これからも身近な泌尿器科専門クリニックとして愛知県がんセンターとしっかり連携し、一人でも多くの患者さんに、ここに泌尿器科クリニックがあって良かったと思っていただけるように、スタッフ一同がんばっていきたいと思います。

【医療機関情報】



診療科目 **泌尿器科** **女性泌尿器科**

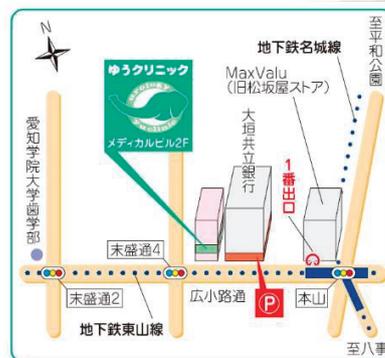
電話 052-761-1155

所在地 〒464-0821 愛知県名古屋市千種区末盛通5-3
メディカルビル2階

ホームページ <http://www.yu-clinic.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30-12:30	○	○	○	/	○	○	/
16:00-19:00	○	○	○	/	○	/	/

★木曜日は国立病院機構 名古屋医療センターで外来・手術を担当しています。
【休診】木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日 ※駐車場は受付券あれば300円まで負担します



最寄バス停:名古屋市営バス 城山バス停留所
最寄駅:地下鉄名城線・東山線「本山」駅1番出口より徒歩1分
駐車場:大垣共立銀行一階北側ほか、以下。



編集後記:第26回は、名古屋市千種区本山駅すぐ傍の、本山腎泌尿器科ゆうクリニック、伊藤裕一先生です。泌尿器科、女性泌尿器科を標榜されており、診察待合室が男女分かれているなど、細やかな心遣いを感じます。また、腎泌尿器領域の様々な症状や疾患について、ホームページ上(左下のバナー)より、丁寧に解説されておりそちらも必見です。すべての患者さんにとって、少しでも受診しやすいような、寄り添うような配慮が、様々なところに散見されます。今後ともよろしくお願いいたします。
Y.SANO

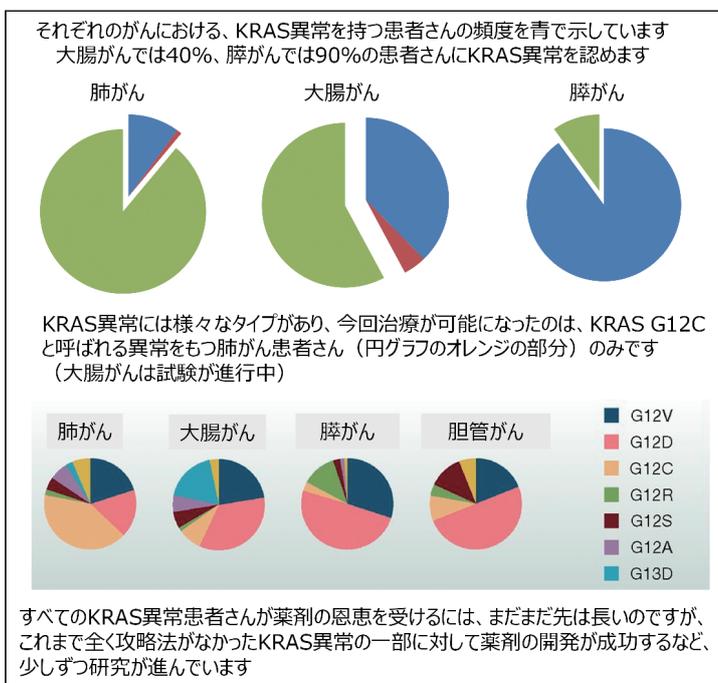
当分野では 2つの領域に重点を入れて研究を行っています



がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野 分野長 衣斐 寛倫

KRAS異常に対する薬剤

KRASは全がん患者さんの20%に異常が見られ、病気の進行に深くかかわっています。KRAS異常は40年前に発見されたのですが、これまで異常なKRASを抑える薬剤がありませんでした。2018年に異常なKRASタンパクにくっついて働きを抑えることが可能な薬剤が開発され、本年日本でも承認されたことから、KRAS異常に対する治療がようやく実現しました。ただし、今回承認された薬剤は、KRAS異常のうちのごく一部のタイプを対象としたもので、まだほとんどのKRAS異常については薬剤が開発途上です。また、今回承認された薬剤も効果のある人は40%程度です。我々は、承認された薬剤の効く人と効かない人がいる理由のひとつを明らかにしており、患者さんに応用することを目指しています。



腫瘍循環DNA解析

腫瘍循環DNAは、がん細胞から血液中に漏れ出たDNAです。血液にはごく微量含まれるだけですが、近年、血液検査からがんが持つ遺伝子を取り出してその異常を調べる検査が急速に進んでいます。現在、大腸がんの手術後に腫瘍循環DNAを評価することで術後補助療法（手術の後に追加で薬物治療をすること）の必要性を決めることができるか、全国150施設で4,000例以上の患者さんを対象に臨床試験が行われています。我々は、試験に参加された患者さんのがんの部分より遺伝子を取り出し、遺伝子の異常や腫瘍循環DNAとの関係を調べています。

腫瘍制御学分野

腫瘍制御学分野では、細胞が正常な状態を保つ仕組みの破綻としてがんを捉え、その分子メカニズムについて研究しています。細胞の内外では増殖や生存を厳密に制御するために様々なシグナルのやりとりが行われていますが、遺伝子変異や細胞を取り囲む環境の変化によりシグナルが乱れると、細胞のがん化やその悪性を招くと考えられます。私たちは、がんの発生や進展につながるメカニズムをより深く理解することにより、新たながん治療法の開発を目指しています。



写真：前列左から、上原了（研究員）、小根山千歳（分野長）、森田知佳（研究員）
後列左から、青木玲奈（嘱託技師）、宮田眞美子（技師）、疋田智也（主任研究員）
左枠、清水緑（名古屋市立大学連携大学院生）

現在の呼吸器外科部のアプローチ



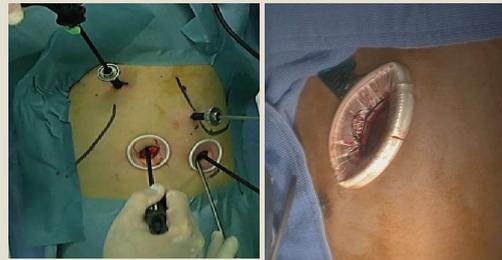
呼吸器外科部 部長 黒田 浩章

当院の呼吸器外科は胸腔内（肺・縦隔）にできた悪性腫瘍を専門領域として診療しています。手術方法について2013年以降は傷の小さな低侵襲の手術である胸腔鏡手術を積極的に行い、早期に社会復帰できるよう努めています。2018年から美容や満足度の点で優れたポート数を3 cm程度の傷ひとつで手術をおこなう単孔式胸腔鏡を導入しました。また、2019年より手術支援ロボット（ダビンチ）も導入し、胸部外科領域での症例を順次増やしています。

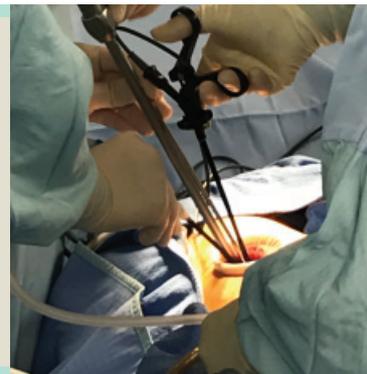
最近では新規抗がん剤や分子標的薬、免疫治療が多数認可され、抗腫瘍効果の高い薬剤が増えてきました。以前であれば、診断時に手術が困難な進行がんの患者さんに対して治療が限られていましたが、最近ではがん専門病院の強みを生かし、各診療科の協力のもとに進行がんでも抗がん剤や放射線治療のあとに胸腔鏡手術を行うことで合併症を減らし早期退院を実現しています。

がんの術後で、生活習慣病などでかかりつけ医のある患者さんについては、かかりつけ医での日常診療を続けながらの病診連携を推進しています。術後にかかりつけ医と愛知県がんセンターの二重でフォローする安心感があります。2022年にがんセンターを中心に愛知県地域連携パスを作成しました。地域の先生方との連携も今まで以上に密にしていこうと予定しています。

胸腔鏡手術（4か所の切開と1か所の切開）



単孔式胸腔鏡 （3 cm程度の切開 1か所で手術を行います）



細胞療法と輸血部

輸血部 医長 田地 浩史

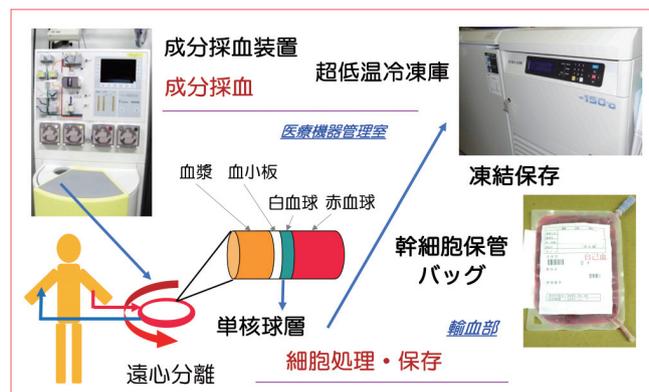
輸血部は造血細胞移植における品質管理と安全確保を支援します。

【造血幹細胞採取】

末梢血幹細胞採取では、顆粒球コロニー刺激因子を患者またはドナーに投与して骨髓から末梢血に動員した造血幹細胞を、血液成分採血装置を用いて効率的に採取します。採取した造血細胞はバッグに蓄えて、幹細胞の指標となるCD34抗原陽性細胞数を迅速に測定します。

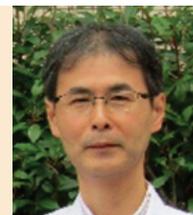
【細胞処理・保存】

細胞治療認定管理師の管理のもと、採取した幹細胞を含む細胞浮遊液を遠心分離・濃縮し適正に調製します。細胞障害の防止のため凍害保護剤を細胞浮遊液に添加し、低温に耐えうる専用バッグに充填します。操作は全て無菌的にかつ迅速に行います。最終産物は移植まで超低温冷凍庫に保管します。



図：末梢血幹細胞採取と細胞処理・保存

がん治療と心筋障害について



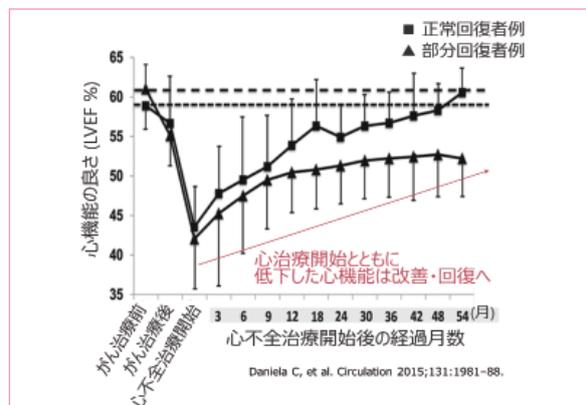
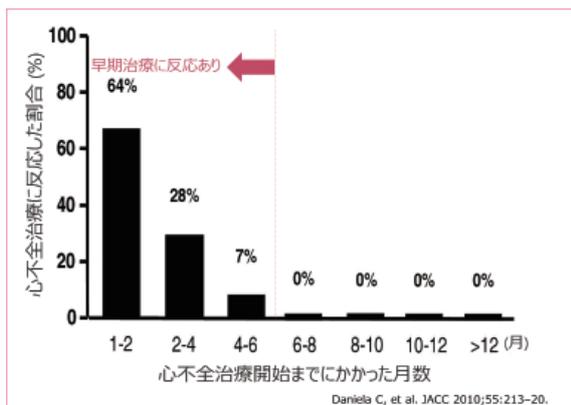
循環器科部 部長 山本 充

がん治療では治療に伴い心機能の低下を起こすことがあり、がん治療関連性心筋障害（CTRCD）と呼ばれています。

心筋障害の発生率は、アントラサイクリン系薬剤の場合は5-30%、トラスツズマブなどの薬では5-15%、血管新生阻害薬では約10%で、放射線治療では高線量の縦隔照射で5-10%などとなっており、他の特発性心筋症や虚血性心筋症の比でも予後が悪くなっていることが報告されてきました。一方で、アントラサイクリンによる心筋障害では心機能が低下した場合でも早期診断と早期治療が始まることで心機能の低下が抑えられることも分かってきました（左図）。

最近の研究では、アントラサイクリンによる心筋障害発症後に早期治療を開始することで約70%の患者さんに心機能の改善がみられ、さらに約10%の患者さんでは心機能が正常域まで回復してくることも示されています（右図）。アントラサイクリンによる心筋障害は不可逆的ではあるものの、早期に治療を開始することで残った心筋への保護作用により心機能が改善する可能性が示されました。こうしたことからがん治療薬による心不全が発見された時には、可能な限り早期診断・早期治療ができるように心がけています。

循環器科部では、これからもがん治療を受ける方々の安全・安心につながる診療を心がけていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。



臨床薬剤部

臨床薬剤部の薬剤師は13名で構成され、病棟薬剤師として活動しています。入院時は患者さんと面談することで、薬歴、副作用歴、アレルギー歴や自宅での管理状況などを聞き取り、持参した薬の確認をしています。

薬剤師ならではの視点で副作用対策や持参した薬の代替薬の処方提案、作用が重複する薬、相互作用のある薬や手術前に中止する薬のチェックなど医療スタッフの負担軽減にも寄与しています。入院中に使用されるお薬の内容を把握し安全な薬物治療に帰依することも重要な役割です。

薬剤部と協同で薬剤管理指導業務を行い、患者さんに飲み薬だけでなく点滴薬の説明も行って、薬物治療への理解の向上と副作用の早期発見に日々努めています。

写真：後列左から、長谷川主任 柴田技師 山崎技師 富安技師 早瀬主任
加藤技師 須田技師 安川技師
前列左から、石川専門員 加藤科長 加藤部長 前田専門員 曾根専門員



医療連携のご案内		寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)	詳細はQRコードまたはHP「寄附のお願い」をご覧ください 
電話	052-764-9892 (直通)	
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)	
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp 「医療関係者の方へ」 - 「医療連携」をクリックしてください。	

外来診療担当表

受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)				
休診日	土、日、祝日、年末年始				
※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤)					
診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原	室	堀尾	田近
消化器内科	原(初) 田中(初) 奥野 山田 倉石 水野(非)(SO) (第2・4)	原 田近 山田(初) 桑原	原 羽場 田近 山雄(SO)(非)	丹羽(初) 水野(非) 奥野 田中 大西(初)	田近(初) 水野(非) 山田(初) 桑原 田中(SO) 羽場
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再)	藤原(初) 山口(再) 渡辺(再) 重松(再) 松澤(初)	清水(非)(初) 重松(再) 藤原(初) 松澤(再)	山口(初) 堀尾(再) 清水(非)(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 松澤(再)
循環器科	山本(非)			山本(非)	
血液・細胞療法	田地(初・再) 柳田(再)	加藤(非)(初・再) 山本(→)(再) 森島(SO)(非) 大野(随時)	田地(再) 齋藤(初・再) 森島(SO)(非) 大野(随時)	齋藤(再) 大野(随時) 山本(→)(初)	加藤(非)(再) 柳田(初・再)
薬物療法	安藤(初) 室(初) 舛石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇 舛石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初) 成田(初)
頭頸部外科	花井(再) 寺田(第1・3・5)(再) 別府他(初)	鈴木(再) 西川(第1・3・5)(再) 別府(第2・4)(再) 澤部他(初)	花井(初) 澤部(再)	花井/寺田(第2・4)(再) 西川(再) 鈴木他(初) 寺田(第1・3・5)(再)	別府 澤部(第1・3・5)(再) 鈴木(第2・4)(再) 西川他(初)
形成外科	高成/中村 奥村	高成 奥村 丸山 中村	高成 丸山 中村	高成 奥村 丸山 中村	
呼吸器外科	高橋(初)	鈴木 黒田(初)	坂倉(初)	黒田・篠田(初)	鈴木 黒田(初) 瀬戸
乳腺科	片岡(再) 小谷/遠藤(初) 澤木(再) 岩田(SO)	岩田(再) 吉村/片岡(初) 服部(再) 能澤(再)	小谷(再) 服部(初) 吉村(再) 岩田(SO)	小谷(再) 岩田(初) 能澤(再) 安藤(再) 澤木(非)(再)	服部(再) 澤木(初) 吉村(再) 岩田(SO) 片岡(再)
消化器外科	松垣 安部 三澤(第2・4週) 伊藤(第1・3・5週)	三澤 木下(非) 奥野(非)	小森(非) 伊藤(非) 清水(非)	夏目 伊藤(非) 大内 安部(初)	佐藤 安部(SO) 浅野(初) 柳野(SO) 藤枝
整形外科・サルコマセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(非)(初)	筑紫(初)	吉田(非)(初)		濱田(初) 藤原(初)
脳神経外科	灰本		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 加藤 田中		小島 加藤(初) 北野		北野(初) 加藤 田中(初)
婦人科	森(初)	鈴木(初) 渡邊 小島(初)	安井(初) 小島(初)	鈴木(初)/森 第1・3・5週 安井(初)/森(初) 第2・4週	渡邊(初)
放射線診断科	稲葉(初) 村田	長谷川(初)	稲葉(初) 山浦		稲葉 加藤(非)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(初) 立花(再) 橋本(初)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	古平(初) 立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)
緩和ケア科・ペインクリニック	下山(午後)	下山(午前)	下山(午後) 木村(午後)(非)	下山(午前)	下山(午後) 長谷川(非)
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	能澤	衣斐	能澤	新津	足立

※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。

糖尿病外来	細川(午後)			細川(午後)	
腎臓内科				担当医(午後)	
皮膚科	森	森	横田(非)	森	
眼科		立川(午前のみ)(非)			立川(午後のみ)(非)
リンパ浮腫		中村(午前)		中村(午前)	

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
 ※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

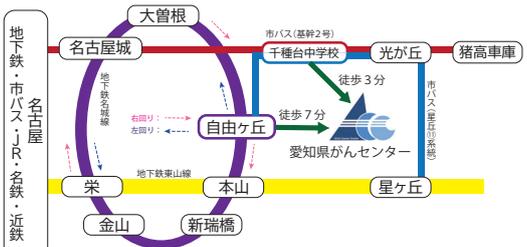
交通のご案内

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分





愛知県がんセンター

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代)

第83号 2023年1月発行 ホームページ：<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

編集：運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想は mail : kohonews@aichi-cc.jp または fax : 052-764-2963 にてお寄せください。なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。

